オートカラーアウォード2023
開催概要

AUTO
COLOR
AWARDS

2023年12月12日・13日

主催：一般社団法人　日本流行色協会　Auto Color Awards2023

目次

オートカラーアウォード2023　応募要項

開催概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
開催趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
スケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
委員一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
審査委員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
審査方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9
応募要項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
広報・PR　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11

開催概要

名 称	AUTO COLOR AWARDS 2023 （オートカラーアウォード2023）
開催	2023年12月12日（火）～13日（水）
会 場	東京国際交流会館　プラザ平成 〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1　　TEL:03-5564-3030 ※同時Web配信（Zoom）
主 催	一般社団法人日本流行色協会
協 賛 (昨年実績)	大日精化工業株式会社、旭化成株式会社、長瀬産業株式会社、DIC株式会社、トーヨーカラー株式会社、東レ株式会社、藤倉化成株式会社、松崎化成株式会社、武蔵塗料ホールディングス株式会社、東洋アルミニウム株式会社、ヤマハ発動機株式会社、山本通産株式会社、BASFジャパン株式会社日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
後 援 (昨年実績)	国土交通省、日本商工会議所、東京商工会議所、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、一般社団法人日本インテリア協会、公益財団法人日本デザイン振興会、一般社団法人日本自動車工業会、日本自動車輸入組合、一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会、一般社団法人日本塗料工業会、一般社団法人日本自動車販売協会連合会
協 力	カワサキモータース株式会社、スズキ株式会社、株式会社SUBARU、ダイハツ工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、株式会社本田技術研究所、マツダ株式会社、三菱自動車工業株式会社、ヤマハ発動機株式会社、ヤンマーホールディングス株式会社
運 営	一般社団法人日本流行色協会　オートカラーアウォード2023運営委員会
参加者	企業で商品開発やカラーデザイン開発に携わる方、カラーやデザインに関心のある一般の方・学生、マスコミ
賞の種類	グランプリ　　※特別賞を設ける場合がある。
募集対象	2022年12月15日～2023年12月末日までに、一般消費者が購入（リース）できる旨を発表している、日本国内市場に向けて販売されるモビリティのカラーデザイン

Good Color For Good Car いい車は色が美しい

豊かで情感に富んだ色彩は、何も芸術品だけに存在するものでは有りません。
歴史と伝統に育まれた社会文化を持つ国は、芸術だけではなく、さまざまな商品にも情感に富んだ優れた色彩を生み出すことができるものです。
色彩の持つ豊かさとは、いわば、その国が持つ社会文化の豊かさそのものと言えます。

オートカラーアウォードとは

モビリティのカラーデザインの企画力や、形との調和を含む、内外装すべてのカラーデザインの美しさを評価する顕彰制度で、1998年からはじまり今年で25回目を迎えます。
モビリティのカラーデザインは、CMFG（カラー、マテリアル、フィニッシュ、グラフィック）、ライフスタイル、安全性など様々な分野を視野に入れプロダクトデザイン業界の最新技術を開拓し、デザイン開発をおこなっており、社会環境、経済、他の業界のデザインに対しても大きな影響力を持ちます。
このようなモビリティのカラーデザインの中で、今年最も魅力的なモビリティのカラーデザインを表彰し、その考え方や成果を他業界や社会とシェアする機会を創出することにより、日本のカラーデザイン全体の向上をめざしています。

COLOR Makes Value　JAFCAは、色で新しい価値を創造します。

生活の中で志向される色彩は時代とともに遷り変わり、その時代の人々の意識を反映しています。私たちは優れたカラーデザインを広く伝え、情感豊かな生活の実現をめざしています。

AUTO COLOR AWARDS × jafca

開催スケジュール（エントリーから結果発表まで）

2023年9月1日　エントリー受付開始

2023年10月20日　エントリー受付締切

2023年10月20日　エントリー車両画像・プレゼンター画像
応募色解説書類等提出締切

2023年11月初旬　ノミネート車両一般公開

2023年12月12日　公開プレゼンテーション・一般審査

13：00－18：00　会場：メディアホール　※同時Web配信
※エントリー数によって、時間が前後することがございます。

2023年12月13日　実車審査・結果発表

9：00－12：00　会場：屋外スペース
実車審査・投票

13：30－16：30　会場：2階ホワイエ（予定）、メディアホール
協賛企業の技術展示交流会、結果発表・表彰式

2024年3月20日頃発行予定『季刊誌流行色』に特集掲載。

委員一覧

運営委員会　※日本流行色協会　自動車色彩分科会メンバー企業から１名ずつ選出

幹事	坂田　裕基	株式会社本田技術研究所　デザインセンター モーターサイクル・パワープロダクトデザイン開発室 プロダクトデザインスタジオ　チーフエンジニア　デザイナー
	田嶋　暢子	株式会社本田技術研究所　デザインセンター e-モビリティデザイン開発室　e-UXデザインスタジオ チーフエンジニア　CMFデザイナー
委員	猪野　精一	カワサキモータース株式会社　企画本部　デザイン部　CMF課　プロシニア
	宮澤　貴司	スズキ株式会社　商品企画本部　四輪デザイン部　エクステリアグループ　マネージャー
	大関　透	株式会社SUBARU　商品企画本部　デザイン部　CMFデザイン課　課長
	石井　敏男	セージ・オートモーティブ・インテリア株式会社　デザイン　マネージャー
	佐々木　克典	ダイハツ工業株式会社　デザイン部　第1デザインクリエイト室　CMFグループ グループリーダー
	小林　香奈	トヨタ自動車株式会社　カラー＆感性デザイン室　室付　主任
	吉富　京	日産自動車株式会社　グローバルデザイン本部　アドバンスドデザイン部 カラーデザイン　デザインマネージャー
	岡村　貴史	マツダ株式会社　カラー＆トリムデザイングループ　マネージャー
	南　清隆	三菱自動車工業株式会社　デザイン・戦略部　マネージャー
	木下　保宏	ヤマハ発動機株式会社　プロダクトデザイン部4Gr.　グループリーダー
	土屋　陽太郎	ヤンマーホールディングス株式会社　ブランド部　デザイン部長

準備委員会　※日本流行色協会　自動車色彩分科会メンバー企業から１名ずつ選出

和田 あい（カワサキモータース㈱）、温泉 美祝（スズキ㈱ 四輪）、荻原 貴美（㈱SUBARU）、
伊勢 貴俊（セージ・オートモーティブ・インテリア㈱）、堀口 真緒（ダイハツ工業㈱）、
中田 里桜（トヨタ自動車㈱）、武田 圭司（日産自動車㈱）、秋山 ゆかり・平井 穫（㈱本田技術研究所）、
細野 明洋（マツダ㈱）、佐藤 亜希子（三菱自動車工業㈱）、土屋 さおり（ヤマハ発動機㈱）、
大原 璃子（ヤンマーホールディングス㈱）

組織図

＜開催を実施する＞

運営委員会
自動車色彩分科会各社代表者

準備委員会
自動車色彩分科会各社から選出

自動車色彩分科会

＜賞を決定する＞

審査委員会

審査委員　4名

自動車色彩分科会各社代表者　11名

一般審査委員　約100名

GRAND PRIX
AUTO
COLOR
AWARDS

審査委員

松田朋春　まつだともはる
グッドアイデア株式会社代表

プランナー。詩人。まちづくり、アートプロデュース、商品企画などに携わる。2005 年愛・地球博公式アートプログラムでプランニング担当。「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」総合ディレクター。ポエトリーコレクティブoblaat(オブラート)代表世話人。 (株)ワコールアートセンター/スパイラル シニアプランナー。グ ッドデザイン賞審査委員歴任。多摩美術大学非常勤講師。著書に『空気の日記』（書肆侃侃房）他。

島村卓実　しまむらたくみ
Qruz Inc. 代表 / プロダクトデザイナー

SUBARUデザイン室を経て2005年に有限会社クルツを設立。
シチズンやdocomo、はとバスなどプロダクトデザインやブランドデザインを担当する他、空間デザイン、グラフィックデザイン 及び デザインコンサルティングなど幅広くデザインを提案している。また、各地域振興を目的としたデザインプロジェクトやワークショップをプロデュース。
グッドデザイン賞他、多数受賞。ウッドデザイン賞審査員。

大日方伸　おびなたしん
株式会社積彩 CEO

1996年東京生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同大学政策・メディア研究科x-Designコース修了。
東京藝術大学芸術情報センター教育研究助手勤務後、2022年に株式会社積彩を創業。3Dプリンティングを駆使し、工法から色彩現象をアップデートする研究・制作を実践している。
主な受賞歴に2020年富山デザインコンペティショングランプリ、Innovative Technologies2022受賞など。

大澤かほる　おおさわかほる
一般社団法人日本流行色協会　カラークリエイティブディレクター

長野県諏訪市生まれ。東京造形大学彫刻科卒業。就職情報誌営業、市場調査会社を経て現職。市場のカラー戦略、商品のカラーコンセプト作成、先行市場のディレクションカラー選定等のコンサルティングを主に「色ごとすべてお任せ」をモットーに、色彩教育、トレンドセミナー、執筆活動と幅広く活動中。インターカラー日本代表。

審査方法

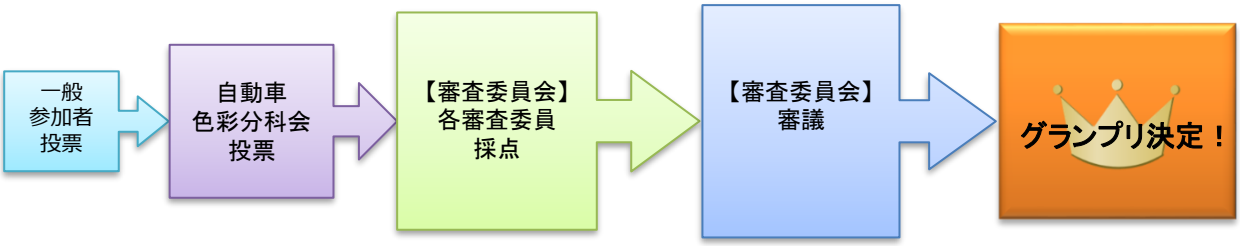
カラーデザイナーによるプレゼンテーションと、実車により審査を行ないます。
公開プレゼンテーション一般来場者、自動車色彩分科会代表メンバーの得点投票と審査委員の得点投票の合計、審査委員の審議によりグランプリを決定いたします。

一般参加者は、選出した理由と共に1カラーデザイン※に投票します。
※会場人数により票数変更の可能性あり。

自動車色彩分科会代表メンバーは、持ち点30点を配分制で投票します。自動車分科会のプロの視点からグランプリに最もふさわしいと思うカラーデザインに20点以上、残りの点数配分は、各審査委員に委ねます。但し投票は最大3カラーデザインまでとします。

総ての投票が終了後に、審査委員は持ち点100点を配分制で投票します。広い視野からグランプリに最もふさわしいと思うカラーデザインに60点以上、残りの点数配分は、各審査委員に委ねます。但し投票は最大3カラーデザインまでとします。

※投票については、自動車色彩分科会メンバーは自社には投票できないこととします。



審査視点

今年最も魅力的なモビリティのカラーデザインは？

- 市場に影響を与えたか。
- モビリティのカラーデザインとして企画／発想が優れているか。
- デザインの企画／発想が他業種の手本となりえるか。
- 従来にない色域に挑戦して成果をあげているか。
- 狙い通りのカラーが表現されているか。
- モビリティ全体でカラーの調和が考えられているか。

発表及び授賞

審査終了後、会場にて即日発表

応募要項

応募資格	①カラーデザイン開発に最も注力した、日本国内市場に向けて販売されるモビリティのカラーデザインで、2022年12月15日～2023年12月末日までに、一般消費者が購入(リース)できる旨を発表しているモビリティであること。 ②日本国内市場向けに、生産、販売、輸入されたカラーデザインであること。 ③審査当日に実車を展示できること。
応募方法	指定のエントリー申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて事務局までお送り下さい。
受付期間	2023年9月1日～2023年10月20日
応募締切	2023年10月20日
応募費用	JAFCA自動車色彩分科会メンバー　￥605,000(税込) 【費用に含まれるもの】 ・プレゼンテーション2点まで、展示台数2台まで（※会場により変動あり） ・プレゼンター、審査委員を含む5名分参加費（プレゼンテーション～懇親会まで）。 ・エントリーメーカーのWeb視聴権 ・展示台数3台目以降は1台につき四輪車￥165,000（税込）二輪車￥55,000（税込） ※ただし、会場により台数制限があります。
提 出 物	・応募色解説書（指定フォームに記入） ・応募車カタログ各15部（ ACA審査委員・自動車色彩分科会審査委員用） ・応募車サイト用ＱＲコードおよびＵＲＬ（JAFCAサイト・ポスター掲載用） ※色はモノクロでお願いします。 ・エクステリア、インテリア高解像度データ (プレスリリース・Web等に掲載、解像度350dpi サイズ天地120mm以上の横位置) ・カラーデザイナーの顔写真 （季刊誌『流行色』等で紹介、解像度350dpiサイズ縦60mm×横50mm以上） ・カラーデザイナーのプロフィール （季刊誌『流行色』等で紹介300文字程度指定フォームに記入） ・機器使用届出表
留 意 点	※プレゼンテーションに使用する画像等は、著作権法に触れないものを使用すること。 （そのまま配信しても問題ない状態で提出すること。） ※展示車両の搬入･搬出は自社で行なうこと。 ※展示車両に万が一の事態が発生しても、JAFCAでは責任を負えません。 保険をかける等、各社ご判断ください。 ※エントリー後のエントリー取り下げは基本的にお受けいたしかねますので、予めご了承ください。何かありましたら事務局までご相談ください。
申 込 先	一般社団法人日本流行色協会 〒101-0051東京都千代田区神田神保町2-2-31 ヒューリック神保町ビル6F 電話：03-5275-1016　　FAX：03-5275-1017 mail：takeda@jafca.org

広報活動について

○ニュースリリース（開催告知・グランプリ授賞）をメール配信。（約450社）

○季刊誌「流行色」に受賞結果の掲載。（購読数約1,000社）

○一般誌、女性誌、車雑誌に案内、告知を配布。（約200社）

○自動車記者クラブに、案内、受賞結果配布。（約40社）

○美術館へ案内、告知を配布。（約20社）

○デザイン系大学、専門学校へ案内、告知、ポスター配布。（約80校）

○ＪＡＦＣＡウェブサイトに無料で掲載。各社ウェブサイトへのリンク。

※本イベントにはマスコミ・各社広報誌の取材が入る場合があります。
イベント会場で撮影された写真やイベント終了後お送りいただいたレポートは、
新聞・雑誌・JAFCA季刊誌・Webなどに掲載される場合がありますことをご了承ください。

受賞社について

○当該年度のグランプリを獲得したメーカーには、広告、宣伝等にその事実と
オートカラーアウォードのウィナーマークを使用できます。マーク使用については、
別に定める表記基準に従ってください。

ロゴマーク使用について

○当該年度のノミネートメーカーとJAFCA自動車色彩分科会メンバーは、広告、宣伝等
にオートカラーアウォードロゴマークを使用できます。表記については別に定める基準に
従ってください。

AUTO COLOR AWARDS

ロゴマーク

GRAND PRIX

AUTO COLOR AWARDS

Winnerマーク